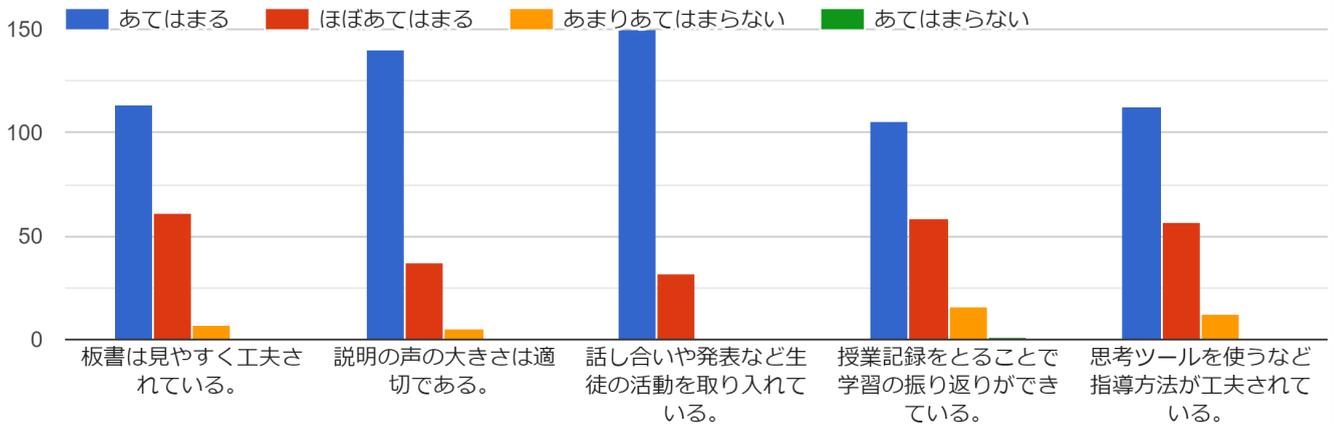


教科名: 国語	重点目標: 文章を読み説く力と書く力の育成
---------	-----------------------

学習指導に関する現状と課題(2学期 生徒による授業評価アンケートより)

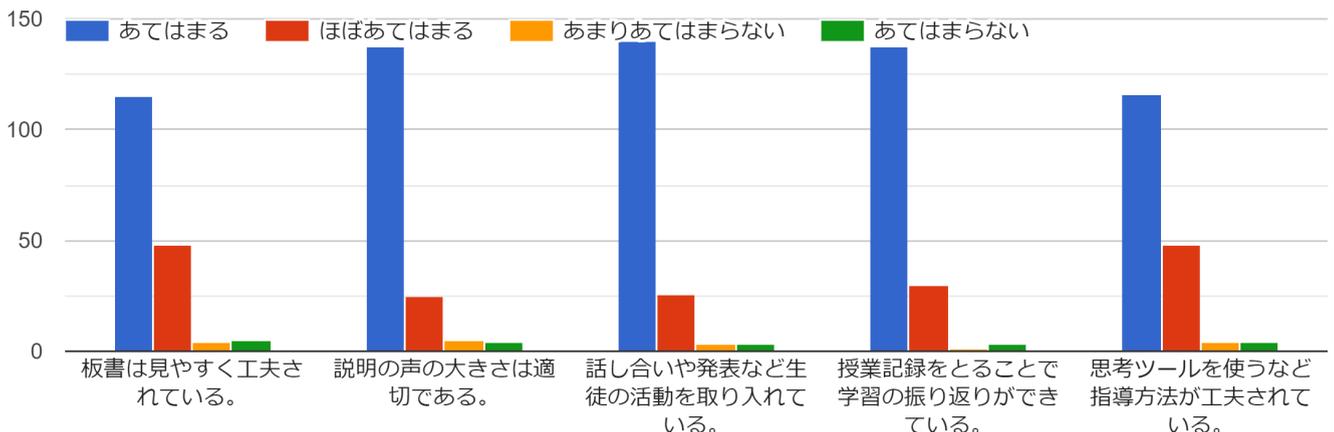
1年 国語の授業について



分析

2学期の間に、単元ごとのふりかえりを行い学びを共有する授業の仕組みが定着した。また、板書はイメージマップや表を使い、視覚的にわかりやすい展開をこころがけた。その結果、1学期の課題であった「板書」と「振り返り」については、「あてはまる」が多くなっている。しかし、「板書」「振り返り」「思考ツール」の項目については「あまりあてはまらない」の割合が減っていないため、授業の受けづらさ、困り感を一部の生徒に残してしまっていることがうかがえる。3学期も、ユニバーサルデザインの授業実現のため、改善を続けたい。

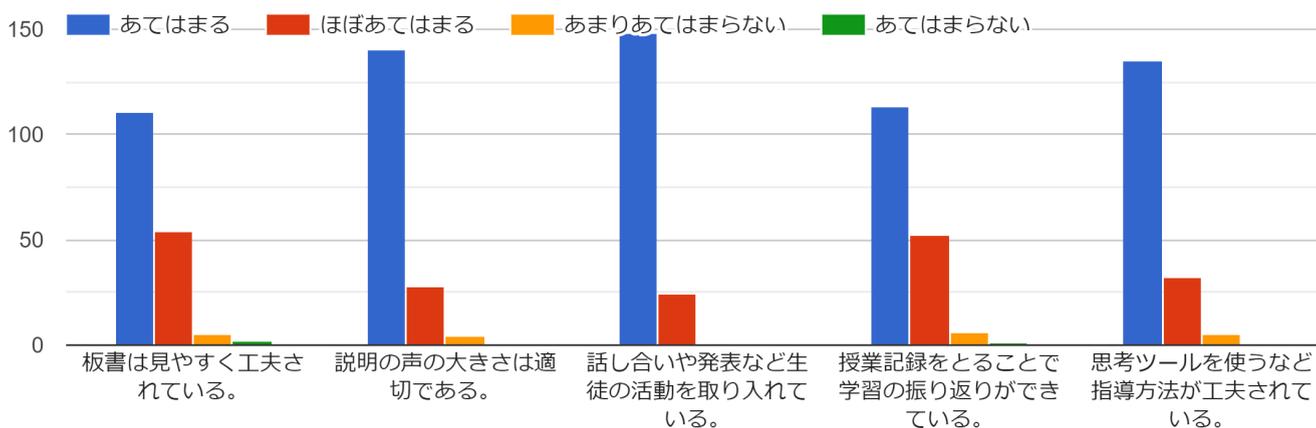
2年 国語の授業について



分析

1学期の課題として挙げた「わかりやすい板書の見せ方を工夫」については、「あてはまる」が増えるなど改善傾向がみられる。今後もさらに工夫をしていく。ただし、「思考ツールの使用などの指導法の工夫」は前回に比べて改善の必要がみられる。来学期以降、この点も改善点として、より良い授業づくりをしていく。

3年 国語の授業について



今学期、ICTを取り入れた授業を多く試みた。板書ではなく、スクリーンに投影させた画像を見せたが、全体を見せようとする、生徒の入力した字が小さくなった結果、見づらさにつながり、板書の見やすさの評価が下がってしまったと思われる。各自がタブレットを見るには、Wi-Fiやギガ数の制限が課題としてあげられるが、学校の環境下で、各生徒が持参したタブレットを使用したり、投影方法を工夫したりして、改善をみせたい。振り返りについては、タブレット内で完結する方法をとっていたが、伝わっていなかったことが大きな反省点である。